

右の新聞記事(2020年1月24日掲載)を読んで、問いに答えましょう。

①記事にある「終末時計」は何の残り時間を(概念的に)示しているのか。「～までの残り時間」という書き方で答えなさい。

()
 までの残り時間

②この「終末時計」の残り時間が過去最短になった主な原因を書きなさい。

[]

③この「終末時計」の残り時間を伸ばすために、あなたにできそうなことは何か。

自分にできそうなことを考え、20字以上30字以内で書きなさい。

2020年1月24日夕刊

地球最後まで「100秒」

【ワシントン共同】米誌「ブレティン・オブ・ジ・アトミック・サイエンティスト」は23日、核戦争発生の危険性などを評価し、地球最後の日までの残り時間を概念的に示す「終末時計」の最新時刻を「100秒」と発表した。1947年の創設以来、過去最短となった。

核と地球温暖化の脅威が深刻になっているのが主な原因。2018年と19年はいずれも「ついで、米国と旧ソ連が冷戦下で水爆開発を過熱させた1953年と並ぶ、これまで過去最短だったが、世界はさらに危機的になっていると警鐘を鳴らした。

時刻の判定に参加した潘基文(バンキムン)・前国連事務総長



23日、米首都ワシントンで発表された残り100秒を示す「終末時計」(時事)

「終末時計」残り過去最短に

「処するべきだ」と指摘。イラン核合意や温暖化対策の枠組み「パリ協定」といった多国間の協調を軽んじるトランプ米政権の姿勢などに懸念を示した。

終末時計の時刻は、ノーベル賞受賞者ら専門家が過去1年の世界情勢に基づき決定している。

この1年は米国との間で緊張を高めるイランが、核合意を逸脱してウラン濃縮を進めた上、北朝鮮の核問題も未解決だと指摘。米国とロシアが、昨年失効した中距離核戦力(INF)廃棄条約の復活や、来年期限が切れる新戦略兵器削減条約(新START)の延長を交渉することが状況の改善につながるとした。

温暖化については、危機感を訴える若者の活動が活発になる一方、温室効果ガス排出を減らすための各国の具体的な行動が足りないと批判した。

←20字

←30字

年 組 名前